

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院外来診療医担当表

		月		火		水		木		金	
		AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
総合診療	内科予約2診	[内科] (循環器) 有田 幹雄		[内科] (循環器) 有田 幹雄		[内科] (神経) 中西 一郎	[内科] (肝臓) 佐藤 博明	[内科] (糖尿) 栗栖 清悟		[内科] (神経) 中西 一郎	
	内科予約3診	[内科] (糖尿) 佐々木 秀行		[内科] (糖尿) 小河 健一		[内科] (肝臓) 田中 寛人		[内科] (糖尿) 佐々木 秀行		[内科] (糖尿) 小河 健一	
	内科予約4診	[内科] (神経) 山根木 美香		[内科] (呼吸器) 上谷 光作		[内科] 交替制	[脳疾患・救急] 加藤 正哉 [第1週]			[脳疾患・救急] 上野 雅巳 [第1・3・5週]	[内科] 交替制
	内科新患5診	[内科] 田中 寛人		[内科] 栗栖 清悟		[内科] 山根木 美香		[内科] 瀬藤 賀代		[内科] 上谷 光作	
	外科診	[外科] 櫻井 照久		[外科] 櫻井 照久		[外科] 鈴間 孝臣 [第2週] [外科] 佐々木 雄里 [不定期]	[外科] 櫻井 照久	[外科] 櫻井 照久			
脊椎ケアセンター	第6診察室	[脳神経外科] 大岩 美嗣		[脳神経外科] 越道 慎一郎		[脳神経外科] 大岩 美嗣		[脳神経外科] 越道 慎一郎		[脳神経外科] 大岩 美嗣	
	第7診察室	[センター長] 川上 守		[センター長] 川上 守						[センター長] 川上 守	
	第8診察室	[整形外科] 石元 優々		[整形外科] 中尾 慎一 (長田 圭司 7/1~)		[整形外科] 中尾 慎一 (長田 圭司 7/1~)		[整形外科] 石元 優々		[整形外科] 石元 優々	
	リハビリテーション科	隅谷 政		隅谷 政		隅谷 政		隅谷 政		隅谷 政	
眼科	泉谷 愛	こども外来	黄斑外来	手術	泉谷 愛	術前外来	田中 才一	手術	田中 才一		
小児科	戸川 寛子	予防接種	樋口 隆造		戸川 寛子		樋口 隆造		戸川 寛子		
麻酔科	道幸 由香里				道幸 由香里		道幸 由香里		道幸 由香里		

※当院は原則すべての診療科で予約制となりますので、来院前に予約センターへ電話での予約をお願いします。

2014年5月1日現在

※担当医が変更になることがありますので、事前にお問い合わせください。※外科：佐々木医師の診察は不定期となるため、事前にお問い合わせください。

※眼科：コンタクトレンズ外来は第2・4月曜日の午前10時00分～10時30分

紀北分院 予約センターTEL：0736-22-4600 (受付時間 月～金曜日 8時45分～15時)

季節の紀北分院レシピ

白身魚のラビコットソース



夏バテ予防に、サッパリとした当院の給食メニューはいかがでしょうか。
ラビコットソースとは、酢や油をベースとした野菜のみじん切りソースのこと、フランス語でRavigoteは「元気を回復させる」という意味があります。トマトやキュウリなどの夏野菜を使用した、見た目もカラフルな一品です。是非、紀北分院の爽やかメニューをご家庭でお試し下さい。

材料 (1人分)

たらやホキなどの白身魚70g、塩0.3g、コショウ少々、サラダ油2g、にんにく1g、水20g、チキンコンソメ0.2g、☆ソース（玉ねぎ20g、きゅうり20g、トマト20g、パセリ少々、オリーブ油5g、白ワイン3g、レモン果汁2g、塩0.3g、コショウ少々）

作り方

魚に塩、コショウで下味をつけ、サラダ油をしいたフライパンで軽く焼き目をつける。にんにくのすりおろし、コンソメ、水を加え蒸し焼きにする。野菜はみじん切りし、☆の調味料と合わせてソースにする。

栄養量

エネルギー138kcal、たんぱく質12.4g、脂質8.0g、炭水化物3.0g、塩分1.0g



管理栄養士
いしもと ゆき
石本 由希

お知らせ

・次回の紀北分院通信「あじさい」秋号は10月です。

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院 分院長 有田 幹雄

〒649-7113 和歌山県伊都郡かつらぎ町妙寺219 TEL 0736-22-0066 FAX 0736-22-2579
ホームページアドレス <http://www.wakayama-med.ac.jp/med/bun-in/index.html>

2014年7月発行



和歌山県立医科大学附属病院紀北分院通信



あじさい



恋しの里あじさい園

掲載内容

- ・ごあいさつ 看護部長 堀江佳代子
- ・夏に知っておきたい応急処置
- ・新任ドクターの挨拶
- ・中央検査室の日常業務について
- ・看護師募集案内
- ・季節の紀北分院レシピ

患者さんの権利

- 1 患者さんに信頼され、安全で心のこもった医療を行います。
 - 2 豊かな人間性と専門的な知識と技術を備えた医療人を育成します。
 - 3 地域に密着し、地域のニーズに応える医療機関を目指します。
 - 4 近代的で最新の知識・技術を活用した医療を行い、地域の中核的医療機関としての使命を果たします。
 - 5 地域の保健・医療・介護・福祉施設や行政と連携し、地域の人々の健康作りに貢献します。
- 当院では、受診される皆様が、以下の権利を有することを確認し、尊重します。
- 個人として、尊重され、平等に良質な医療を受ける権利があります。
- 診療に関して、十分な説明と情報を受けける権利があります。
- 十分な情報を得た上で、自己の意志に基づいて医療を受け、あるいは拒否する権利があります。
- 他の医療者の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。
- 個人情報やプライバシーを守られる権利があります。

基本方針

私たちちは地域に密着した医療が実践できる質の高い医療人を育成し、安全でご安心いただける医療を提供して、地域の保健医療の発展に貢献します。

理念



ごあいさつ

看護部長 堀江 佳代子

看護部長 堀江 佳代子

私たち看護部では、継続した教育を行っています。社会人として、組織人として自律・自立した行動ができ、信頼していただける看護専門職であり続けることを目標に、努力していきたいと考えております。

夏に知っておきたい応急処置

【熱中症】

高温や高湿の環境下で全身に熱がこもる状態を熱中症といい、症状により熱けいれん、熱疲労、体温調整機能障害を伴う熱射病に分けられます。高齢者では冷房のかかっていない家中でも起こります。

- 1) 热けいれん：高温の環境下で水分補給をせずに作業や運動をしたときに起こります。痛みを伴った筋肉のけいれんで吐き気や腹痛を伴います。体温の上昇はあってもわざかです。
- 2) 热疲労：高温・高湿で大量の発汗による脱水状態です。疲労感、頭痛、めまいや吐き気が出現します。
- 3) 热射病：異常な体温上昇、興奮、錯乱、けいれん、意識障害が出現し、汗が出なくなるために皮膚は乾燥します。手当しないと死亡することがあります。

・対応

風通しの良い日陰や冷房の効いた所に運び、衣類を緩めて楽な体勢にしましょう。顔面が蒼白で脈が弱くなっている場合は足の下に座布団などをいて高くしましょう。吐き気や嘔吐がなければ、水分補給しましょう。(スポーツ飲料や薄い塩水など) 体が温かい時は水で全身を濡らし、仰いで風をよくり体温を下げましょう。体が冷たくなったり、震えがあるときは乾いたタオルで皮膚をマッサージしてください。このような手当をしても治まなければ、できるだけ早く医師の診察を！！

- 3) のような熱射病の症状があるときは救急で医療機関へ受診をしてください。

【蜂刺され】

痛みと腫れがおこり、発疹やじん麻疹が出る人が4人に1人ぐらいです。ただし過敏な人はショック状態となり、呼吸が停止し死亡することがあります。

- ・対応
針が残っているものは根元から毛抜きで引き抜くか、横に払って振り落します。
(針をつまむと針の中に残っている毒をさらに注入することができます)
冷湿布をして医師の診察を受けてください。



【蛇咬傷】

日本での毒蛇はヤマカガシ(本州、四国、九州)、マムシ(北海道から九州)やハブ(沖縄、奄美諸島)がいます。マムシやハブは咬まれると10分前後で傷口が腫れていきます。痛みが起り、全身状態が悪化すると死亡する危険があります。ヤマカガシは数時間後で傷口から出血するのが特徴です。毒液が直接目に入ると失明することがあります。



・対応

安静にしましょう。手足を曲げ伸ばしたり、走ったりすると毒が回りやすくなります。目に毒液が入ったときは水道水でよく洗い流しましょう。蛇の毒は脱水症状を起こしやすいので水分補給をしましょう。救急で医療機関へ受診しましょう。

- ・注意点
咬まれた傷口に口をつけて吸い出すことは、誤って飲み込んでしまう危険性や、口内炎・虫歯などの傷口から毒を吸収してしまい、二次感染する可能性があるためお勧めできません。

新任ドクターの挨拶



内科 学内助教
栗栖 清悟

診察日 火・木曜日
専門分野 糖尿病、一般内科

今年の4月から紀北分院内科で勤務させていただいております、栗栖清悟と申します。

出身は和歌山市で、医師としてこれまで地域医療に興味を持っておりました。専門は糖尿病です。糖尿病は治療や原因に、地域性も関連する病気と考えております。地域の方の生活習慣やニーズを理解して診療を行っていきたいと考えております。未熟ですが何卒よろしくお願い申し上げます。

中央検査室の日常業務について

中央検査室技師長 植原友美子



中央検査室で実施している検査には、患者さんから採取された血液や尿などを扱う検体検査と、患者さんの身体に直接触れて検査をする生理機能検査があります。そのすべての検査において、患者さんに安心で安全な検査を提供するということを、当検査室では心がけています。私達臨床検査技師が携わる検査は、病気の早期発見・診断および治療効果の判定に貢献するために、精度の高い検査を正確にかつ迅速に提供するよう日々努力しています。また、医療チームの一部門として責任と自覚を持ち、信頼される検査室を目指すため、自己研鑽に励み技術の向上にも努めています。

実施している検査項目は以下の表をご覧ください。

検査名	項目・概要
血液検査	血球数(赤血球、白血球、血小板)とその分類 凝固・線溶(フルファリン(血液の凝固を押さえる薬)投与されている方の治療経過判定)
生化学検査	肝機能、腎機能、脂質代謝、感染症、アレルギー、腫瘍マーカー、炎症反応、糖尿病検査など
尿検査	新鮮尿では尿糖・尿蛋白・尿潜血、顕微鏡で尿中の細胞を観察、24時間蓄尿では尿中化学成分を測定することで腎機能等をみる
便検査	便に血が混じっていないかを鑑別する検査・O-157やロタウイルス等の迅速検査等
輸血検査	血液型検査、不規則抗体スクリーニング、輸血前の交差適合試験等
特殊な検査	インフルエンザ検査、マイコプラズマ検査、尿中肺炎球菌検査、呼気(口から吐く息)で胃の中のピロリ菌の有無をみる検査・痛風か偽痛風かを鑑別する関節液検査・脳脊髄膜炎疑いのときの髄液検査等
病理検査	細胞診検体の前処理、手術中迅速病理組織標本作製等
生理検査	心電図やホルタ一心電図、肺活量、血圧脈波、脳波、聴力検査 睡眠時無呼吸検査、自律神経検査、頸動脈および心臓超音波検査等

最後に、当院に来られた患者さんがリラックスして検査を受けていただけるよう心掛けておりますので、安心してお越しください。

和歌山県立医科大学附属病院

紀北分院

看護職員採用選考試験を実施します



■受付期間

第1回 平成26年5月26日(月)～平成26年6月27日(金) (消印有効)

第2回 平成26年7月7日(月)～平成26年8月8日(金) (消印有効)

第3回 平成26年8月25日(月)～平成26年9月26日(金) (消印有効)

第1回 平成26年7月12日(土) 第2回 平成26年8月23日(土)

第3回 平成26年10月11日(土)

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院

平成27年4月1日 ■採用予定人数 10名程度

申込書、卒業(見込)証明書、成績証明書、看護師免許証の写し(有資格者のみ)を同封の上、下記まで郵送又は持参してください。

(※郵送の場合は必ず簡易書留郵便とし、封筒の表に「第□回看護師職(紀北分院)受験申込み」と朱書してください。)

〒641-8509 (専用郵便番号: 住所の記載は必要ありません) 公立大学法人和歌山県立医科大学事務局総務課

■問い合わせ先

採用試験等のお問い合わせ先 医科大学事務局総務課 073-447-2300 (内線)5718

職務内容等のお問い合わせ先 紀北分院看護部看護管理室 0736-22-0066 (内線)2261

詳細は、紀北分院のホームページをご参照ください。

<http://www.wakayama-med.ac.jp/med/bun-in/index.html>